

鹿ノ台川柳教室 一月度句会

一月八日(月) 西集会所

席題 「色」

森里えいじ選

- 色足して年齢引いて化けてみる 乃り子
- とりどりの色秘めている母米寿 広子
- ツルベ落としストーンに驚いた日 千楽
- 三兄弟何で違うのリトマス紙 哲子
- もとの色判らぬほどに君に染む よし尚
- 味よりもインスタ映えのレストラン アキラ
- 赤い紅さしてごまかす病み上がり 登美
- バスの窓色とりどりに山化粧 春代
- 人生に色を重ねてにがり酒 勝利
- 還暦は赤古希は何色白を着る 英二
- ④ほのぼのと七くさかゆの浅緑 正清
- ⑤赤い色いつも際だつ人の中 えいじ

宿題

「ひらひら」(連記)

橘 正清選

- 後期でもチャンスがあれば舞い上がる よう子
- ひらひらと生きてひっそり逝く予定 広子
- 人気ない商店街の万国旗 英二
- 初釜に振袖ひらり香り立つ 登美

- ひらひらと手が舞う陽気安来節 宏樹
- ひらひらに食い入る目つきフィギュア 幸男
- 揺れる年金ソツポ向くヤング達 千楽
- ひらひらと手招きされて午前様 よし尚
- 終わり方かくあるべしと枯れ葉舞う アキラ
- 祝日も国旗ヒラヒラ遠慮がち 乃り子
- ひらひらと枯葉が舞って金となる 勝利
- 今日だけはえびす顔ですお年玉 哲子
- 振り袖が友を呼んでる成人式 ミノル
- ひらひらに頭なやます投稿日 えいじ
- ④ひらひらとただひらひらと舞うかれ葉 春代
- ⑤牡丹雪成層圏の香りする 正清

宿題 自由吟(共選)

勝部乃り子選

- 目覚ましが嬉しい朝と憎い朝 広子
- 説教も酒席でやればパワハラに アキラ
- ビットコイン億万長者出る時代 宏樹
- 気負うから小石にさえも蹴躓く よう子
- 植えかえて見事に咲いた赤い花 えいじ
- 無知の知を知れば知り程無知を知る 登美
- もがり笛意固地になつてよもすがら 正清
- 最悪の相性越えて真珠婚 広子
- 燃え尽きる幸せ知らぬ檻の中 勝利

古希の春ちよつと張り込むおさい銭
 プライドが邪魔して職に在り付けず
 紙面より何にかと重しチラシ読む
 ねんごろに疑惑の底に粘土質
 ⑤脚色の余生豊かに燃え尽きる
 ⑥平成がカウントダウン始まった

英二 勝利 幸男 正清 よう子 乃り子

宿題 自由吟（共選）

杉本ミノル選

付度でベアーもと国無理を言う
 そつくり返り張り手あり綱得意
 脚色の余生豊かに燃え尽きる
 紙面より何にかと重しチラシ読む
 冬に咲く皇帝ダリア字のごとく
 プライドが邪魔して職に在り付けず
 掘りこたつすることもなく大あくび
 三笠山犬と並んで見る初日
 妻のグチ夫のロマン比例する
 書き初めに子らを導く夫の字
 もがり笛意固地になつてよもすがら
 大吉だ縁起がいいのか惑う人
 ⑤古希の春ちよつと張り込むおさい銭
 ⑥絵馬を見てこれは無理だと困る神
 ⑦最悪の相性越えて真珠婚

アキラ 千楽 よう子 幸男 春代 勝利 えいじ 英二 乃り子 春代 正清 よし尚 英二 よし尚 広子

宿題 お題「叶う」（互選）

② 願い事絵馬は軽々叶える気
 突然にお嫁に行く四十路の娘
 病癒え喜び叶う母の顔
 親の夢子の結婚で叶えられ
 ③ 生き生きと叶う生き方終わり方
 核武装叶え地獄へまっしぐら
 叶ったらうろたえそうな夢ひとつ
 ④ 叶えてと叶わぬ夢の神頼み
 ⑤ 賽銭の割に願いが多すぎる
 難関を突破し晴れの福娘
 後妻でも三食昼寝希望です
 ⑥ かなわぬわ店主は負けて得を取る
 叶わない夢の御蔭で長く生き
 叶わぬが若く見せたいふたつみつ
 ⑦ 願いごと腹八分目が丁度いい
 ⑧ 青写真叶ったものの砂の城
 ⑨ 念願も叶ってからの又苦惱

ミノル アキラ 宏樹 幸男 宏樹 勝利 広子 登美 英二 アキラ 広子 ミノル 英二 春代 哲子 よう子

平成二十九年 年間秀句

お題「皮肉」

噛まず呑む皮肉丸めた糖衣錠

義雄

お題「紙」

過去をみな消したつもり再生紙

よう子

お題「愛想」

御愛想の裏の裏読む年の功

義雄

自由吟

聞き取れず笑いの渦の隅にいる

よう子

お題「そっくり」

そっくりに腹が立ちます子と亭主

広子

鹿ノ台川柳教室 会員の新聞投句 掲載された句

(十二月十九日、十二月二十一日各紙掲載分)

朝日新聞 田中新一選

十二月二十一日 題「妙味」

人生の挫折後悔味を付け

播本英二

いじめ抜いた身体がやつと応えだす

奥村義雄

奈良新聞 居谷真理子選

十二月二十日 題「閉じる」

国境を閉める情報はじゃじゃ漏れ

五十嵐千楽

やけに寂しいシャッター街の銀座の字

野々村アキラ

いつからか笑いの袋口を閉じ

澤山よう子

閉店のお知らせを貼る瘦せた肩
志半ばで閉じた相撲道

播本英二
勝部乃り子

奈良新聞

十二月二十一日 藤原一志選 自由吟

身の丈の野心ぐらひは持つている

澤山よう子

取り取りのイミテーションの底力

橘 正清

* 初春に新しいメンバーが加わった。

北3の充さん。仕事から解放された、とのこと。

新しいといえ、参加2回目の春代さん、

連記・ひらひらで「秀」。快挙に拍手が起きた。

彼女は互選でも、秀句へあと一歩だった。

ヤングパワー！ことし、どんな成果を見せてくれるか。

(千)*

次回二月十九日、十三時、西集会所。

宿題のお題、「怪しい」、「案じる」、「自由吟」。各二句。

* 「怪しい」は連記で一枚の短冊に二句とも書く。

* 「自由吟」は選者二人の共選、二部提出のこと。

当日席題あり。十二時三十分、「お題」発表、

出句は、宿題十三時、席題十三時十五分。

五十嵐修 (79・0751)、原広子 (79・0061)